

輝人き

料理ボランティア

海田 美保子 さん



おいしい料理で
笑顔にしたい



隣では、地域の託児ボランティアの人たちが子どもたちの面倒を見てくれるので、ママも安心。

菅原病院の子育てママの居場所「ママカフェ」で、料理ボランティアをしています。元々料理が好きで、自分が作った料理を食べた人が「おいしい」と笑顔になることが嬉しく、やりがいを感じていました。たまたま人に料理を振る舞う機会があり、そこから料理を教えて欲しいと頼まれるようになりました。はじめのうちは断っていました。何度も頼まれるうちに断れず、子育てが一段落した頃、自宅で料理教室を始めました。知り合いに少し教える程度のもりでしたが、いろいろなどころから声が掛かり、気付けば40年以上続けていました。そんな中、約3年前に「ママカフェ」立ち上げの時に声が掛かり、地域で子育てを支える取り組みがいいなと思い関わるようになった。

りました。毎月「子どもが喜ぶ季節に合わせたメニュー」を考え、教えています。ママ達も地域の託児ボランティアの人達に子どもを預けることが出来るので、安心して料理を作っています。年を重ねると、メニューを考えるのに時間がかかったり、味覚も変わったり、苦勞することも多くなりましたが、若い人と関わることでパワーがもらえるので、楽しく続けることが出来ています。今の時代、レトルトなど簡単に料理もできますが、ぜひ手間をかけた料理を作りたいと思います。食べる相手のことを考えて、愛情や時間をかけた分だけ、おいしい料理が出来ます。そして、おいしい料理は、人を笑顔にします。これからも、自分のペースで料理の楽しさを伝えていきたいです。

押し花文化 のふるさと・おおむた

作品名 母の里

作者 菅嶋ヒロ子

昔、子どもの頃、田舎のじいちゃんの家で、井戸水で冷やした“梨瓜”を食べたのを今でも忘れない。かやぶきの家ではないが、それに似た古い家だった。



ひまわりの咲く庭は、空気がおしく元気がでる。青々とした空の9月、夏の終わりに古い記憶とまぶしい思い出がなつかしくよぎる。

大牟田押花の会

編集後記

▼久しぶりに地元の大蛇山を見に三池へ。狭い通りを大きい大蛇が練り歩く姿は圧巻！小さい頃から見てきたからか地元の大蛇山が一番かっこよくみえます

▼大牟田を離れている人の中には大蛇山まつりに合わせて帰省する人も多いのだとか。何度見ても飽きない！そんな大蛇山の魅力を伝えるべく、今回の特集はいつもより写真多めで！「大牟田の暑い夏」を感じていただけたらと思います(仁)